

広島県中小企業団体中央会 2021年7月分情報連絡一覧表

※本調査は8月の見通しについても調査をしている関係上、特に新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する8月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

●食料品

広島県東部菓子商工業協同組合

原材料、資材、人件費など経費の高騰により、収益を圧迫している。
多くの人が職を失うなど、所得の減少により個人消費が下がっている。
ワクチン接種が進めば、経済の回復が予想される。

中国醤油醸造協同組合

7月の出荷量は前月比5.8%増加、前年同月比6.2%増加となり、売上高は前月比10.8%増加、前年同月比10.5%増加となった。

(繊維・同製品)

●繊維工業

(一財) 広島県織物工業会

先月から比べるとほぼ横ばいである。

コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発令され、営業活動への影響も出ており、今後の見通しとしては先行きが良いとはいえない。自粛ムードが続くことで状況は更に悪くなることが予想される。

広島アパテック協同組合

見通しは依然としてよくない。企業間で好不調の差が激しい。
ネット販売のメーカーからは一定の注文はある。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- 令和3年6月の全国新設住宅着工戸数は76,312戸で前年同月比7.3%増加
- 季節調整済年率換算値では866千戸で前月比1.0%減少
- 利用関係別では、持家は26,151戸で前年同月比10.6%増加、貸家は29,802戸で同11.8%増加
- 分譲住宅は19,877戸で1.5%減少、木造住宅は45,750戸で11.0%増加と県全体の住宅着工動向は、前年同月比で4カ月連続の増加となり、コロナ禍に見舞われた昨年よりは回復傾向にあるものの、1~6月累計の412,010戸は年間着工戸数が最後に90万戸台となった一昨年(90万5千戸)よりも8.5%減少で推移しており、今後の動向を注視していく必要がある。

<広島>

- 6月の着工戸数は1,355戸で対前年同月比10.7%増加
- 内訳としては、持家は443戸で前年同月比6.5%減少、貸家は533戸で同34.9%増加、分譲は375戸で同8.1%増加と、県全体の住宅着工動向は3カ月連続の増加となった。
- 地域別では広島市が692戸で前年同月比31.1%増加、福山市は249戸で同14.2%増加、東広島市は116戸で同16.0%増加、呉市は56戸で同12.0%増加、尾道市は51戸で同4.1%増加の一方、廿日市市は54戸で同15.6%減少であった。

全体的に回復傾向にはあるが、全国同様コロナ禍での低水準からの回復であり、4月から本格化したウッドショックの影響で木材製品・国産材原木の高騰や品薄は長期化しており、他樹種への仕様変更や工期見直し等の協調対応も見られるが、業種業態で繁閑格差も顕著で先行き不透明であり、今後の需給動向を注視していく必要がある。

ひろしま木材事業協同組合

製材用の国産材丸太は高い需要が継続している。桧相場は7月初旬に相場のピークを向かえ、隣県の岡山では、3m柱取り価格が53,000円、4m土台取り価格が41,000円まで上昇した。次の市では一旦価格は下落したものの、その後は横ばいが続いており、相場は高止まりの様相を見せている。杉は比較的穏やかに相場が上昇してきたが、7月に入り上がり幅が拡大した。九州の原木高の影響もあり、西から徐々に価格が上がりつつある。

プレカット工場は木材製品の不足が続いており、柱・土台・合板の仕入れに苦労している。7月には前月中にホワイトウッド管柱などが一定量入荷したこともあり、定時稼働もしくは1時間残業で稼働する先が多かった。仕事量は増加しており、コロナ禍以前の水準まで回復しつつある。

福山木材協同組合

ウッドショックの影響が続き、木材価格が上昇しているため、出荷量は減っても売上金額は落ちない状況となっている。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

東京オリンピック、パラリンピックなどのイベント等が少しずつ行われることで、印刷業界にも良い影響が出る様、期待している。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

第5波と言われるコロナ感染拡大傾向が拡大しており、経済の回復期待は、あまり感じられない。特に業界として影響が大きいのは、半導体不足、コンテナ及び船便減少やエンプラ（耐熱性を持ったプラスチック）である。ナイロンの不足により、自動車業界は、経営年度における上期（4月～9月）に大幅な減産を余儀なくされつつあり、為替も円安が進行し、原油価格の上昇に伴う、諸原材料の価格上昇が進行している。仕事量（売上）が伸びない中でインフレ進行が起きそうであり、今年度上期の経営環境は大変厳しい。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

樹脂価格の値上げや一部の樹脂不足感など、取り巻く環境はやや厳しさがある。

マツダの2ライン停止による受注減少もあり、自動車関連の受注不透明感が継続している。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

今月の売上は、出荷や受注の増加が売上に反映され、前月比では20%増加、前年同月比では受注の増加が売上に反映され、15%増加であった。受注の回復は継続しており、内需はやや減少したが、外需の増加でカバーできている。

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

靱鉄鋼協同組合連合会

会社（鉄鋼二次製品）によっては短納期で普段の何十倍もの注文が入っているところもある。8月中での納品などスポット的な注文が多い。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、前月比20%増加、前年同月比30%増加となった。

スポット受注も増加の要因である。

受注の回復が継続しており、外需とともに内需も回復基調が高まる。

(電気機器)

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は前月比横ばい、前年同月比50%増加となった。

2月以降の売上回復基調は変わらず、工作機械市場等の順調な回復基調を要因として、増収が継続している。

海外需要の回復が顕著で今後の受注増加が見込まれる。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客（マツダ）の業況（生産台数）に比例している。

直近ではコロナからの回復は着実に進んでいるが、半導体の供給不安で8月までは伸び悩みの状況である。ただし、9月以降はフル生産を見込んでおり、人的資源も含めた準備をしている。

・7月の国内自動車販売台数は全需が377千台、前年同月比4.8%減少と10ヶ月振りの前年割れ。登録車は前年同月比3.3%増加と5ヶ月連続で前年超え、軽自動車は同17.0%減少と9ヶ月連続の前年割れ、マツダ車は同8.4%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

・アメリカの6月度の全需は1,300千台で、前年同月比16.4%増加と2ヶ月連続で回復。マツダ車は前年同月比28.7%増加と、前年同月を2ヶ月連続で上回る好調な結果となった。

・欧州の6月の全需は1,493千台で、前年同月比13.2%増加と4ヶ月連続で前年を上回り、マツダ車は同36.0%増加と4ヶ月連続で前年同月を上回る回復結果となった。

・中国の6月の全需は1,926千台で、前年同月比16.1%減少と3ヶ月連続で前年割れ、マツダ車は同19.1%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

・上記各地域の状況下、マツダ車の5月の海外販売合計は105千台、前年同月比9.6%増加と4ヶ月連続で前年超えとなった。

・マツダ車の6月の輸出台数は、前年比78.2%増加と4ヶ月連続で前年超えとなった。

・マツダ車の国内生産台数は、前年同月比96.5%増加と4ヶ月連続で前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内、2500総トン以上の令和3年6月の船舶建造許可実績は2隻、131,000総トンであった（前月1隻、30,000総トン、前年同月8隻、237,290総トン）。なお、この2隻は輸出船で、貨物船であった。

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

（その他）

●家具・装備品

府中家具工業協同組合

後継者不足、従業員の高齢化により6月末で一社廃業した。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合福山卸センター

今後の見通しとして、新型コロナウイルス（特にデルタ株）の感染拡大の影響が出ると考えられる。

協同組合広島総合卸センター

実績反映はこれからだが、コロナのワクチン接種を背景に好転の兆しが見られる。

「雑貨」においては、生活必需品、医薬品関連は堅調。その他、紙・段ボール等においても需要の回復が見られる。

「資材」においては、製造業、民間工事の復調を背景に、バラつきはあるが全体的には好転。

「食品」においては、「蜜」回避の消費者心理が根付き、飲食店向け需要は依然厳しい見通し。

「繊維」においては、需要の低迷による価格引き下げの動きは沈静化している。

今後、需要回復局面に移行していく際の運転資金の手当、資金繰りについて注意していく必要がある。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

住宅着工は、持家を中心に前年比増加となっているが、今後のウッドショックと鉄鋼製品の影響が不透明で電材業界への影響が危惧される。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

新型コロナウイルス感染症拡大による先行き不透明感が強い。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

びんご畳表では、7月7日～16日にかけて新藁草の刈り取り時期となり、刈取り、泥染、乾燥を経て一気に多忙を極めた。乾燥した藁草は、1ヶ月超程度は倉庫で藁草本来の青みの色が落ち着き製織出来る状態になる事を見極め、新藁草の畳表の製織である。そして、検査後に受注先等への販売・出荷の運びとなる。

畳表の取扱い景況感は、やや低調であるが、今後を期待している。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

7月は広島県のコロナ感染集中対策が一旦終了したが、飲食業者の営業再開のスピードは遅く、疲弊感に満ちている。巣ごもり特需の恩恵を受ける業者は特定化されつつあり、一般の小売業者に売り上げ回復の見通しは立っていない。

中央市場における7月の取扱高は、水産部・青果部とも前年の9割程度と低水準で、7月末から広島県の早期対策が始まり、盆のかき入れ時に向け不安材料が増している。このままでは閉塞感の常態化がますます進むように感じる。

協同組合三次ショッピングセンター

昨年はイベント自粛により集客イベントを実施出来なかったが、今年はやや多めに実施し、客数及び売上は昨年比に比べ伸びた。

ただ、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、消費者の外出自粛による売上減が予想される。

組合員店主の高齢化と後継者問題、顧客も同様に高齢化しており、若者の市外流出で人口減となり、数年後を見据え、ビジネスモデルをどう転換していくのか、決断の時期が目前に迫っている状況である。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比9%増加となった。

商品別では、薄型テレビ同11%増加、DVD同15%増加、冷蔵庫同4%減少、洗濯機同4%増加、IHクッキングヒーター同12%減少、エコキュート同28%増加、エアコン同9%減少となった。

全般的に半導体等の部品不足で商品供給に難あり。

洗濯機・エアコンなどの一部の高級機種に品不足傾向が見られる。

依然、コロナ禍・天候不順で販売先行き不透明感が拭えない。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

7月後半から、僅かではあるが、販売量が増加傾向にある。連休やコロナ禍での移動、連日の猛暑により、車の利用が増え燃料の消費量も増えているようで、前年比では増加。

但し、原油価格の高騰から販売価格も上昇。感染拡大も続いていることから、コロナ禍前の状況には戻っていない。

高い仕入価格が続いており、資金繰りが心配される。

(商店街)

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

商店街のにぎわい創出として例年実施していた呉中央地区商店街共催の土曜夜市は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い昨年は中止であった。今年は規模を縮小しての開催を予定していたが、コロナの感染防止対策の要請や費用対効果の面から今年も中止となった。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比17.7%減少、前年比3.3%減少。

車検場収入は、前月比17.4%減少、前年比4.5%減少。

重量税・登録印紙の売上は、前月比7.3%減少、前年比9.9%増加。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

先月に続き、稼働状況は厳しい。

全国的に感染者が増加傾向であるため、各自肅要請に伴い受注は減少していくと思われる。

●警備業

広島県警備業協同組合

コロナの影響が警備業界にも出始めているように思われる。

(建設業)

●工事業

神辺建設業協同組合

コロナ禍の影響で発注未定が多い。

福山地区電気工事業協同組合

7月分の工事受付件数は前月比4.7%増加、前年同月比10%減少となった。

コロナ禍の影響が収まり、景気が上向くことを期待する。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、7月度は前月比24.7%減少、前年同月比62.3%減少、前年累計比も43.5%減少と下落幅が大きくなった。物件数が極端に少なくなってきた。

物件数の減少は競争激化を招き、工事単価の下落にも繋がり、組合員事務所における人材確保や法定福利費計上等、業界にとって前向きな動きが鈍る懸念がある。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

コロナ禍以前の物流量には戻っていないが、オリンピック開会式前後の4連休により稼働日が少なく、夏場の飲料や医療関連商品、テレワークの普及による家具等の配送が増加したため、大型ウィング車が不足し運賃も上昇してきた。

世界的なコンテナ不足の影響で、トレーラーの稼働は減少している。

OPECプラスの減産や投機により燃料価格が上昇しており、収益は悪化している。

中国カーゴ軽運送協同組合

飲食店関連、駅等の大型公共施設へ納入するお菓子の製造業は、一年半経った今でも再受注は難しい状況である。

松永地区トラック事業協同組合

7月の売上は、前月比及び前年同月比ともに大きな変化はなかった。

貨物輸送量に大きな変化はない。関東、中部、関西からの復路の貨物の運賃が未だに値崩れしている状態が継続しており、先月と同じように復路は空車回送している時もある。今月は4連休があり、稼働日数が少なく売上が伸びなかった。

また、軽油価格が先月に引き続き上昇しており、前年同月比でも収益を圧迫している。原油価格が新型コロナウイルス感染症の再拡大による減産によるものかどうか不明であるが、当面このような価格で推移しそうである。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、若年船員の育成が進まないなど、船員不足の状況が続いている。

また、運賃・用船料の改善が依然として見られない状況である。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

組合員1名が加入した。前月比及び前年同月比は、特に大きな変化はなく、依然としてコロナ禍の不動産鑑定業界への影響は少ない。

流川・薬研堀歓楽街の飲食店業界の自粛・時短要請が一旦は解除になったが、また自粛・時短要請が始まる。要請ばかりで補助金の支払いが遅れているため要請に従わない店舗もかなり出てくると推測される。

リフォーム業界も、資材・部品・製品の納入が遅れており、仕事が捗らない状況である。

不動産市場については、コロナ禍の影響による様子見から市内中心部での取引は少ない様に思われる。